

海外安全対策情報（令和元年度第1四半期）

1 自然災害

（1）アグン山の状況

4月以降も毎月複数回噴火が発生しました。5月24日の噴火の際は、デンパサール国際空港は通常どおり運航していましたが航空会社の判断により当地発着の航空便の一部に影響が生じました。噴火警戒レベルは依然として3（警戒）が継続されています。現状を踏まえ、引き続き関連最新情報を入手の上、注意警戒してください。

（2）ロンボク島及びその周辺における地震

5月下旬以降、ロンボク島周辺のみならずバリ島周辺や東ヌサ・トゥンガラ州スンバ島周辺においても地震が発生しています。地震はいつでもどこでも発生する可能性があります。引き続き、地震関連情報の入手に努めてください。実際に地震が発生した場合は関連する災害や事故に巻き込まれないよう安全確保に努めてください。

2 社会・治安情勢

（1）テロ関連に伴う治安情勢

今年のラマダン前後及びその期間中に、西ヌサ・トゥンガラ州ビマ市及びドンブ県でテロリストが治安当局により逮捕された旨報道がありました。それ以外に当館管轄内（バリ州、西ヌサ・トゥンガラ州及び東ヌサ・トゥンガラ州）では治安に影響を与える大きなテロ事件及びテロ関連事案の発生はありませんでした。しかしながら、インドネシア国内又は世界各地ではテロ事件が多く発生しています。引き続き治安情勢等の最新関連情報を入手し、日頃から危機管理意識を高く持つよう努め、テロの標的となりやすい場所（ナイトクラブなど多くの欧米人が集まる場所、ショッピングモール等不特定多数が集まる場所や政府・警察関係施設、宗教関連施設等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、万一不審な人物や状況を察知した場合には、速やかにその場を離れる等、安全確保に努めてください。

（2）正副大統領選挙の集計結果発表に伴う治安情勢

西ヌサ・トゥンガラ州マタラム市等において正副大統領選挙の集計結果発表に関連するデモが行われました。治安当局によると、当該デモに起因する治安に影響を及ぼす大きな混乱は発生しなかったとのこと。

（3）デング熱

4月以降も引き続きデング熱の罹患に関する報告が寄せられました。累次お知らせのとおり、本年に入り当館管轄州では多数の者がデング熱に罹患しています。仮にデング熱が疑われる症状が発生した場合には早期に医療機関で適切な診察を受けるようにしてください。

(4) 狂犬病

報道によると5月にバリ州ブレレン県で、6月にジュンブラナ県で住民が狂犬病ウィルスを持った犬に咬まれる事案が発生したとのことです。5月上旬には邦人旅行者がウルワツ寺院を散歩中、突然肩に乗りかかった猿に首を引っ搔かれるという事案が発生しています。万一野犬等の動物に咬まれる等された場合は傷口を石鹼と水でよく洗い流し、自己判断することなく速やかに医療機関を受診し治療を受けてください。

(5) 麻薬・薬物への注意

バリ州各地において、毎月薬物所持、使用、運搬等の罪状により、国籍を問わず多数の者が身柄を拘束されています。当地裁判所は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しています。麻薬・薬物には絶対に関与しないでください。

3 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪傾向

クタ地区（ナイトクラブ周辺）におけるスリ・ひったくりが依然として発生しています。また、クタ海岸やサヌール海岸で置き引きや車上ねらいといった事案も報告されています。外出中や使用車両から離れる際は、貴重品の管理に注意し、徒歩での移動の場合には周囲に十分警戒してください。

(2) 邦人被害事案

邦人に対する一般犯罪の事例については、月ごとに安全対策情報として総領事館ホームページに掲載しています。

4 テロ・爆弾事件発生状況

当館館内においてテロ・爆弾事件は発生していません。

5 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の誘拐・脅迫事件は発生していません。

6 対日感情

対日感情は基本的に良好であり、特段の変化は見られません。

7 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業の安全に関わる問題は認知していません。

以上